

《プログラムⅡ》11月14日(日) [11:00~17:00] ワークショップ・受賞作品上映

H 放送局部門、C ケーブルテレビ部門、S 市民・学生・自治体部門、K 高校生部門

時刻	会場A 100周年記念会館 ホールA	会場B 100周年記念会館 ホールB	会場C 100周年記念会館 第1会議室
11:00 12:00	11:00~ グランプリ作品上映	11:00~ ながさき原爆記録全集 映画「広島・長崎における 原子爆弾の影響」検証編 長崎ケーブルメディア [55.5分]	11:00~ 模擬原爆 島田空襲の真実 ~もうひとつの原爆 パンキン爆弾の真相に迫る~ 静岡県立島田工業高等学校 [31分] K
12:00 13:00		12:00~ 小さな命の意味 ~大川小 語り部10年~ 椋山女学園大学 栞窪ゼミ [24分] S	11:35~ からくり人形師 大垣ケーブルテレビ [49分] C
		12:25~ 境界線 兵庫県立淡路三原高等学校 [9分] K	12:25~ 秘話 ~「知覧」にある米兵慰霊碑~ 中央大学松野良一ゼミ 佐藤仁紀 [30分] S
		12:35~ 17年の空白 関西大学映像応用実習 [20分] S	
13:00 14:00	ワークショップ [13:00~15:30] 「テレビ局と高校放送部の 共同制作から考える」 半世紀近く前に高校を卒業した生徒たちが恩師を 困んで話を聞く、そんな「ホームルーム」の物語を テレビ局と高校放送部が共同制作した。そこに見 えてくる教育の原点とは一。 一方、「テレビは何を伝えたか」は96年に起きた松 本サリン事件で、テレビ局は何故、第一通報者であ る被害者男性を犯人視し、誤報の訂正も遅れたの か。高校生たちがテレビ報道の在り方を問うた歴 史に残る話題作だ。 【上映作品】 「黄葉 伍郎ちゃんがいる教室」 (テレビ信州・松本深志高校放送委員会) 「テレビは何を伝えたか ~松本サリン事件のテレビ報道から~」 (松本美須ヶ丘高校放送部) ●司会 村田 麻里子 (関西大学社会学部教授) ●パネリスト 松澤 亮 (テレビ信州) 西尾 遥 (関西大学学生) 谷原 和憲 (日本テレビ) 林 直哉 (松本深志高等学校教諭)		13:00~ 裸のムラ 石川テレビ放送 [80分] H
14:00 15:00			14:20~ ストップ! 見て見ぬふり ~勇気の一步を踏み出そう~ 富山市立堀川中学校 [16分] K
15:00 16:00			14:40~ 丸裸温泉街 キャッチネットワーク [58分] C
		15:30~ ネアンデルタール人は核の夢を見るか ~高レベル放射性廃棄物の行方~ 北海道放送 [49分] H	15:40~ 靴下を折りなさい 加古川市立陵南中学校 [8分] K
			15:50~ 曇天五輪 上智大学水島宏明ゼミE班 [14分] S
16:00 17:00	16:00~ 英語で語る93歳の被爆体験 長崎ケーブルメディア [29分] C	16:20~ ルソンの祈り ~順子ちゃんの戦場をたどって 法政大学別府研究室 [40分] S	16:05~ おいてけぼり【9060家族】 中京テレビ放送 [53分] H
	16:30~ 関西学院大学混声合唱団エゴラド ~コロナ禍の軌跡2020~ 関西学院大学総合政策学部メディア情報学科 [14分] S		
	16:45~ 0.5ミリのプレッシャー 箕面自由学園高等学校 [8分] K		

※各作品の上映開始時刻は目安としてご参照ください。作品の入替え作業の為、若干変動することがあります。